

- 2016年度 第1回理事会報告  
開催日時：4月16日(土) 13:00~16:10  
開催場所：日本医療社会福祉協会会議室  
出席理事：16名(全理事29名)

## 主な審議事項

### 1. 2015年度事業報告・収支決算承認と監事会計監査報告について

#### ① 2015年度事業報告の承認について

2015年度事業報告について資料である総会議案書(原稿)を基に公益目的事業の内容、各部・各チームの活動内容の説明をして確認をした。

総括として2015年度事業は、おおむね計画通りに遂行できたとの報告がされた。

その後、一部の記載内容について担当理事より、確認と加筆訂正の指摘があり、これに対応して総会議案書の修正を入れることとして、2015年度事業報告は承認された。

#### ② 2015年度収支決算の承認について

2015年度収支決算について資料である収支計算書に基づいて公益事業別収支、災害支援事業収支、自賠責運用益助成事業収支、財産目録、貸借対照表、正味財産増減表内訳など決算概要を説明した。

2015年度収支決算の概要は、次のとおり。

A事業活動収入計 125,685,869円、B事業活動支出計 126,092,194円

C事業活動収支差額 - 406,325円     I次期繰越金収支差額 13,860,485円

なお、投資活動収支の説明を次のとおり行った。

特定費用準備資金については、石巻災害支援収支が堅調であることから石巻支援準備資金を取り崩し、これに代えて、将来の災害支援に備えるための災害支援準備資金および広報活動準備資金を積立てた。

当該準備資金は、公益目的事業に活用を予定しており、具体的には、災害支援準備資金は熊本地震の被災者支援、広報活動準備資金は、医療と福祉 100 記念号および東日本大震災 5 年間の記録刊行に活用を予定している。

決算概要の説明後に監事より、監査報告を行った。

会長より、2015 年度事業報告及び収支決算について承認を求めたところ、全理事より承認を得た。

2015 年度決算及び事業報告を 2016 年度総会に諮ることとした。

## 2. 2016(平成 28)年度収支予算の補正について

2016 年度収支予算は、第 6 回理事会(2 月 16 日開催)において提案・承認を得ている。しかし、4 月に確定した石巻市との災害支援委託事業の委託事業収入が約 97 万円減額となったため、同予算の補正を行いたいとの説明をした。このため 2016 年度予算について、改めて補正予算として理事会承認の提案をした。

審議の結果、補正予算の提案について承認を得た。

## 3. 「平成 28 年熊本地震」への対応について

4 月 14 日に発生した熊本地震への対応について検討した。

日本医療社会福祉協会災害対策要綱に基づき災害対策委員会を招集し、本日付で早坂会長を本部長とする災害対策本部を立ち上げることを決定した。なお、具体的な支援体制と活動については、再度災害対策会議を開催して検討することとした。

#### 主な報告事項

1. 診療報酬改定説明会は、3月26日に東京で第1回目を開催した。以降札幌、神戸、福岡、仙台、松山で開催する。なお、説明会での厚労省担当者からの質疑応答の内容を「疑義解釈」としてまとめている。
  2. 認定社会福祉士スーパービジョン説明会を第1回目5月29日新潟大会、第2回目を10月30日東京で開催する。
  3. 2017年度北海道大会の日程は6月2-4日・テーマは「医療ソーシャルワークの枠組みを再考する」の説明をした。
  4. 4月14日現在の会員数正会員4889、賛助会員219（個人196、団体23）合計5108。
- 2016年度 第2回理事会報告  
開催日時：5月26日（木）13：30～14：30  
開催場所：朱鷺メッセ(新潟県コンベンションセンター) 203会議室  
出席理事： 24名（全理事29名）

#### 主な審議事項

1. 社員総会議案及び議事運営の確認について

議題の内容及び議題についての説明者の確認をした。

2. 大会運営について

事前に配布したマニュアルに基づいて役割分担の確認をした。

3. 熊本地震支援活動について

災害本部設置後からの活動概要の説明をした。

\*総会前の短時間の開催のため報告事項は省略した。

#### ●2016年度 第3回理事会報告

開催日時：6月19日（日）9：00～15：00

開催場所：日本医療社会福祉協会会議室

出席理事： 20名（全理事29名）

#### 主な審議事項

##### 1. 総会・大会の総括について

各部より大会関係の総括の発表を受けた。大会参加者は、813名（速報）であった。

##### 2. 「平成28年熊本地震」への対応について

現在の被災状況について情報交換をし、行政機関、県協会等との連携協力の方法について意見交換をした。支援実行に当たっての財源として、協会の災害積み立て資金と寄付金を当てることとした。

##### 3. 関連報告

- ・認定事業部より新潟大会で認定説明会を開いた約200名の参加を得た。
- ・総務部より医療と福祉100号記念号の企画について説明した。
- ・社専協では、団体名称変更を検討しており、あわせて会則変更も検討していることを説明した。

#### ●2016年度 第4回理事会報告

開催日時：9月11日（日）9：00～16：00

開催場所：日本医療社会福祉協会会議室

出席理事： 26名（全理事29名）

#### 主な審議事項

##### 1. 「業務指針」の見直しと業務指針改定チームの創設について

業務指針は平成元年に策定し14年に改定したが、現在の視点から見ると不足もあることから、見直

しを行うことをすでに決定し、作業担当者を指名したが、新たに検討チームを組織して進めることとした。

## 2. ソーシャルケアサービス従事者研究協議会の組織変更と副代表就任について

同協議会では、組織の見直しを行っているが、これに関連して職能団体から副代表を選任することとなった。当協会は、社専協の幹事団代でもあることから、副代表を引き受けることし、了承された。

## 3. 調査研究倫理審査委員会

現行の調査研究倫理審査委員会の規程や書式については、対象や方法について検討をした方が良いところがあり、この点について意見交換をした。

## 4. 協会名称について

現在の協会名は、対外的活動が増加するに伴い「わかりにくい」「長すぎる」などの指摘がある。公益法人であり、一般国民に浸透するためにも名称のあり方について継続して検討することとした。

### ●2016年度 第5回理事会報告

開催日時：12月4日（日）9：00～12：00

開催場所：日本医療社会福祉協会会議室

出席理事： 23名（全理事29名）

#### 主な審議事項

##### 1. 2017年度事業計画及び予算案の作成について

各部より提出された予算案を集約した協会予算案では、△300万円となるため、再度各部で検討修正をし、次回理事会2週間前に全体に配信し、2月の次回理事会で最終決定することとした。

## 2. 2017年度厚労省研修生派遣予定について

現在厚労省派遣している鈴木幸一氏が今年度で退任するので、後任として西出真悟氏(オレンジホームケアクリニック)に就任していただくことが決定した。

## 3. 関連報告

- ・ 2017年6月に診療報酬改定の要望書を提出するために意見を求めている。
- ・ 交通事故研修事業オンライン講座について、現在のところ462名の申し込みがある。
- ・ Wi-Fiを事務局会議室に設置する。
- ・ 「福祉ハンドブック」の改訂版が発行された。

## ●2016年度 第6回理事会報告

開催日時：2月26日(日) 9:00~12:00

開催場所：日本医療社会福祉協会会議室

出席理事： 23名 (全理事29名)

### 主な審議事項

#### 1. 2017年度事業案と予算案について

前回理事会で継続検討となっていた次年度事業計画と予算案について、その後の調整を経た提案があり、各部からの説明を踏まえて審議し、承認された。

#### 2. 協会組織体制の見直しについて

協会の組織力・専門性を高めるために新年度より次のとおり、協会及び事務局態勢を変更することを説明した。具体的には、事務局に常勤の専門職を採用・配置し、事務局の専門性を高めるようにする。またこれまでの部ごとの担当割から公益事業を中心とした組織割に変更する。総務部を廃止し、総務部の担っていた仕事は事務局に移管していく。

### 3. ソーシャルワーク専門職のグローバル定義の展開案の承認について

グローバル定義は、2014年に新定義が採択されている。2015年2月に日本語定義が確定し、7月にグローバル定義に基づくナショナル定義を作成するワーキンググループが社会福祉専門職団体協議会（社専協）と日本社会福祉教育学校連盟の合同で立ち上げられた。1回目の会議で「アジア・太平洋地域における展開案」にならって「定義」ではなく「展開案」を作成することが確認され、6回のワーキンググループ会議を経て2016年11月14日に最終案が決定。社専協での確認を経たので、あとは各団体の理事会・総会の承認が必要である旨の提案があり、承認され、総会に諮ることとした。